

# DURAPREP® | PREP 220

## 説明

業務用塗膜剥離剤 (ゲル状): ウレタン、アルキド樹脂、シロキサン、及びほとんどの2液性エポキシ樹脂を除去する。コンクリート床の厚い塗膜を除去するために理想的な剥離剤である。鋼板、アルミニウム、コンクリート、合成構造物、及び石造 (れんが) を含む、ほとんど全ての被塗面に使用可能。

## 特長

- 表面の汚れ及びチョーキングに優れた洗浄力
- 低粘度であるため、水平な表面上に自己平滑性を示す
- 滞留して 5 - 6 時間後のコンクリート上に、1 - 2 mils の表面粗度を追加する
- 本製品を塗布前の、金属製被塗面の既存の表面粗度を維持する
- ガラス製品又はゴム製品に影響を及ぼさない
- 標準的設備のスプレー機器で塗布可能
- 洗剤及び水、又は変性アルコールで容易に洗浄可能
- 水性、不燃性
- 引火点: 221°F (105°C) より高温
- 凝固点: 32°F (0°C)
- 沸点: 212°F (100°C)
- pH 2
- 被覆率: 25 - 90 sq. ft. /gal. (理論値)
- 推奨用途:
  - エポキシ樹脂、ウレタン、シロキサン、建築用塗料、及び粉体塗料を除去する
  - 床塗膜を除去する
  - 研磨作業又は粉碎作業に比べて、作業場内の有害な粉塵を減らしながら、アルキド樹脂を含有する鉛を除去する
  - 多くのプラスチックやファイバーガラス製表面から塗膜を除去する (テストパッチが必須)
  - 工場で業務用製造及び加工
  - 環境や経済的な理由、又は被塗面に対する損傷が懸念される場合は、アブレイシブブラストが実行できない

## 色相及び光沢

- オレンジ (ゲル状エマルジョン)

## 20°C (68°F) での基礎データ

混合物のデータ	
構成	1液性
密度	8.3 lb/US gal (1.0 kg/l)
VOC (供給時)	最大 3.3 lb/US gal (約 397 g/l)
貯蔵安定期間	24 ヶ月 (乾燥した冷暗所にて保管した場合)

# DURAPREP® | PREP 220

## 推奨素地調整 及び 被塗面温度

- 表面温度は 50°F ~ 95°F (10°C ~ 35°C) であること
- 本製品は低温においても効果を示すが、滞留時間は増加する。85°F (30°C) を超える温度においては、滞留時間内の乾燥を防ぐために本製品を重ね塗り又は再塗布するか、ラップ等で被覆する必要がある。本製品は厚膜で耐薬品性の強いエポキシ樹脂を、許容可能な時間内で除去できない場合がある。

## 使用上の注意

- 試験箇所: 全面塗布する前に、常時さまざまな膜厚の剥離試験箇所を用意すること。これは完了までの所要時間、概算の使用面積、及び塗料や被塗面に対する本製品の適合性を示す。
- マスキング: スプレー塗布で剥離剤が飛沫すると予想される表面を含む、除去対象ではないがそれに隣接する箇所の被覆/防護をすること。プラスチック(ポリエチレン)シートは非常に効果的な障壁を作り出す。マスキングテープを使用する場合、剥離剤がテープを浸し、その下の塗料に損傷を与えないようにテープを2層貼り、剥離剤の塗布後は即座に上層のテープを剥がすこと。剥離剤の塗布前に、水を草木等の植物に満遍なくスプレーすること。損傷防止のため、繊細な植物を被覆すること。
- 混合: 分離が発生した場合、ドリルミキサーで剥離剤を再度均一になるまで通常 2 - 5 分、充分混合すること。機械で振動させないこと。希釈しないこと。
- 設備及び工具: 本製品はエアレススプレーを使用し、塗布することを対象としている。塗布装置は前回使用した製品、化学物質、又は溶剤(特に石油スピリット)の付着がなく清浄であること。使用前に変性アルコールで洗浄すること。Graco 390 又は大型ポンプ等の耐薬品性設備を有する、専門的なエアレススプレー機器のみを使用すること。チップサイズが0.019インチ以上(例: 519 又は 425 tip)のスプレー機器を用意すること。他の備品: 刷毛、ローラー、スクレイパー、マスキングテープ、プラスチック(ポリエチレン)シート、圧力洗浄機、電動ドリルミキサー、洗浄のための空バケツ、水。ローラーを用いた塗布は推奨しない。
- 滞留時間: 浸透するまでに必要な時間は、塗料の種類及び温度によって異なる。ほとんどの塗料系は、2 - 24 時間を要する。最良に仕上げるため、剥離剤の塗布後は一晩放置すること。必要な滞留時間及び剥離剤の膜厚は、試験箇所によって決定することが最良である。
- 塗布: 除去する塗膜上に、厚く均一な剥離剤の層を塗布する。エアレススプレーは塗布するために最も効果的な手段である。常時最低の圧力設定でスプレーポンプを起動し、適切なファンパターンが生じるまで圧力をゆっくりと上げていく。ウェット膜厚は最低でも 15 mils (300 microns) であること。剥離剤は除去する塗膜よりも 1.5 - 2 倍の厚さで塗布すること; 例として、効果的に除去するために 20 mils の塗膜に対して 28 - 40 mils の剥離剤が必要である。高圧で狭いチップサイズのスプレー機器を使用した場合は、剥離剤の乳剤が破壊され、その有効性は減少する。30 mils (600 microns) を超える膜厚を形成する場合は、剥離剤を2回に分けて塗布することが望ましい。まず約15 mils (塗膜表面の色相を隠すために充分な厚さ) の薄膜で塗布する。この層は約 5 - 30 分間滞留する。その後2回目の塗布で、残りの剥離剤の膜厚を形成する。攪拌すれば剥離剤の浸透が遅れるため、塗布後は剥離剤をそのまま放置する。刷毛及びローラーによる塗布は、均一でない低い膜厚を生じさせるため避けること。
- 再塗布: 複数回塗りされた塗料の場合、いくつかの層の間の中塗りの密着性が、不十分である可能性が非常に高い。この接合部分で早期のリフティングが起こる可能性がある。もしこの現象が発生した場合、リフティングした塗膜を除去し、剥離剤を再塗布する。剥離剤を乾燥させないこと。剥離剤は長期間にわたって(48時間まで)ウェットな状態を持続させる性質であるが、過度の日光、強風、又は剥離剤の不十分な膜厚が早期の乾燥をもたらす。剥離剤が乾燥し始めた場合、薄膜で再塗布し、完了までの時間を延長すること。
- 除去及び洗浄: リフティングした塗膜の除去はスクレイパー、スクイージー、ウェット/ドライ真空吸引装置、又は高圧洗浄によって対応可能。高圧洗浄を行う場合、剥離剤の残留物及び除去した塗膜が飛沫し、接触すると予想される全ての箇所を、洗浄作業から防護すること。下記セクションの高圧洗浄による除去作業で、洗浄水と不活性剥離剤の接触を防ぐために、垂直面の下部から上部にかけて高圧洗浄を行うこと。塗膜除去後の表面は、再塗装前に化学物質の残留物を除去するため、2 fl. oz. - 4 fl. oz. (1ガロンごとに希釈) の Prep 120 又は変性アルコールを用いて洗い流すことができる。リフティングした塗膜を回収し、地方自治体の規則に従ってこれを廃棄すること。スプレー塗布の完了後すぐに装置に水、又は変性アルコールを流し、スプレー機器を洗浄すること。
- 使用制限: 業務用のみ; 家庭での使用を対象としない

# DURAPREP® | PREP 220

## 安全予防策

- 本製品を取り扱う際は、常に適切な安全手順を順守する必要がある。使用前は安全衛生に関する重要な情報を得るため、SDSを参照すること。SDSは通常の営業時間中: 800-441-9365、その他は24時間緊急対応回線: 412-434-4515をご利用いただき、PPGテクニカルサービスにお問い合わせいただくことで入手可能です。
- 除去した塗膜や廃棄する剥離剤の残留物を、金属製容器に収集及び/又は保管しないこと。プラスチック容器のみを使用すること。
- 警告: 擦る、研磨、又は旧塗膜を除去することで、鉛ダストや有害なガスを放出する可能性がある。鉛は有毒である。特に子供たちは鉛ダストや有害なガスに曝された場合、脳の損傷等の深刻な疾患を引き起こす可能性がある。妊娠している女性たちも、これら物質に曝されることを避けるべきである。鉛との接触を抑制するために、NIOSHが承認済みの体にぴったり合う人工呼吸器を着用し、皮膚との接触を防止する。HEPA電気掃除機及び水分を含んだモップを使用し丁寧に清掃すること。作業開始前にご自身及びご家族を保護するため、USEPAナショナル鉛情報ホットライン: 1-800-424-LEADにお問い合わせいただくか、又は[www.epa.gov/lead](http://www.epa.gov/lead) にログインください。カナダでは、該地域のカナダ保健省の事務所にお問い合わせください。表面調整中に放出される可能性のある、他の有害物質との接触を抑制するため、これらの指示に従ってください。
- 軍用機に対する使用は認められていない

## ワールドワイド対応

PPG Protective and Marine Coatings (PPGプロテクティブ&マリン コーティングス) は、常に世界中どこでも同じ製品を供給することを目標としています。しかしながら、地域や国内の法規/状況を順守するにあたって、製品の微調整が必要となる場合があります。その場合は、代替の製品データシートが使用されます。

## 保証

PPGは、(i) 製品の所有権、(ii) 製品の品質が、製造時点において PPGが定める製品仕様に準拠していること、ならびに (iii) 製品は第三者のいずれの米国特許権も侵害していないことを保証します。これはPPGによる唯一の保証であり、商品性、特定用途および目的への適合性、非侵害性、権原、または制定法あるいはそれ以外の法律、もしくは取引の過程、履行の過程、慣習法、または取引慣行により生じる保証をはじめとして、明示または黙示を問わず、あらゆる種類の保証も行わず、または明示的に責任を排除します。本保証に基づきいかなる請求も、購買者が当該欠陥や不具合を発見してから5日以内にPPGに対して書面で行うものとし、また製品に適用される保管期間、あるいは購買者または購買者が指定する配達先に商品が届けられた日から起算して1年のいずれか早い方が過ぎていることを前提とします。購買者が本規定に適合しないことをPPGに通知しなかった場合、購買者は本保証に基づく担保責任の追及をすることはできません。

## 賠償責任の制限

PPGは、いかなる場合も、製品の使用に関連または起因する、あるいは結果としての間接的、特別的、付随的、派生的な(過失、厳格責任、不法行為のいずれを原則とするかに関係なく)損害回復の理論に基づく一切の責任を負わないものとします。本書の情報はガイダンスのみを目的に作られたものであり、PPGが信頼に値すると考える臨床実験を基にしたものです。PPGは、実地経験および継続的な製品開発の結果として、いつでも本書記載の情報を修正することができます。PPG製品の使用に関連する推奨や示唆は、それらが技術文書内で用いられているかどうか、あるいは特定の問い合わせに対する回答かに関わらず、PPGが知り得る限りにおいて信頼できるデータに基づくものとします。製品および関連する情報は、当該産業における必須知識および技能を有するユーザーを対象としており、製品が個々の特定利用に適しているかどうかの判断は、ユーザーの単独責任であり、購買者は独自の裁量権とリスク引受において行うものと見なされます。PPGは、基質の品質または状態、あるいは製品の使用や用途に影響を及ぼしうる数多くの要素については管轄外であり、(契約書に明記されている場合を除き)本情報の使用や内容に起因する損失、被害、損害の責任を一切負わないものとします。適用する環境の変化、使用手順の変更、データの補完に伴い、不十分な結果をもたらされる場合がありますが、本書は先行するあらゆるバージョンに優先し、製品の使用に先立って、本情報が現行のものであるかの確認は購買者の責任とします。すべての PPG Protective & Marine Coatings Products (PPGプロテクティブ&マリン コーティングス製品) の最新データシートは、[www.ppgmc.com](http://www.ppgmc.com)にて閲覧可能です。また本書の英語版は他の翻訳版に優先するものとします。

製品コード	説明
PREP220	オレンジ (ゲル状エマルジョン)

注意点: 1ガロン、5ガロン、55ガロンのドラム缶 (特注品)、及び携帯タンク (特注品)